



禁煙のすすめ



[Home](#) > [健康に関する情報](#) > [禁煙のすすめ](#) > たばこの周囲の人への影響



たばこの周囲の人への影響

たばこの煙

たばこの煙には、以下の3種類があります。

- 「主流煙」喫煙者が直接吸い込む煙
- 「副流煙」点火口から立ち上る煙
- 「呼出煙」喫煙者が吐き出す煙

主流煙は、フィルターを通っているため、有害物質が一部取り除かれます。しかし、副流煙はフィルターを通らないため、多くの有害物質は主流煙に比べ約2～4倍以上多く含まれます。そのため、副流煙の方がはるかに有害だといえます。

副流煙に含まれる有害物質(主流煙との比較)

タール	3.4倍
ニコチン	2.8倍
アンモニア	46.0倍
一酸化炭素	4.7倍
ベンツピレン	3.7倍
ニトロサミン	52.0倍
ホルムアルデヒド	50.0倍

受動喫煙

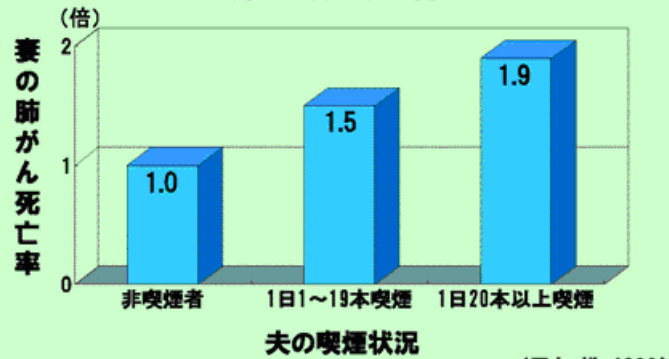
喫煙者と一緒にいるだけで、周りにいる非喫煙者は少量のたばこを自分で吸ったのと同じような状態になってしまいます。これを「受動喫煙」といいます。

受動喫煙による健康影響

	確実なもの	可能性のあるもの
成人	肺がん、虚血性心疾患、副鼻腔がん	子宮頸がん、気管支喘息の悪化、呼吸機能の低下
子供	呼吸器感染症（肺炎や気管支炎など）、気管支喘息の発病と悪化、中耳炎、慢性的呼吸器症状、乳幼児突然死症候群	呼吸機能の低下
胎児 (妊婦本人の喫煙)	低体重出生、早産、周産期死亡、妊娠・分娩合併症、乳幼児突然死症候群	自然流産、先天異常、出生児の認識や行動の障害、小児がん
胎児 (妊婦以外の周囲の喫煙)	低体重出生	自然流産

(喫煙と健康 3版、保健同人社、2002をもとに作成、一部改変)

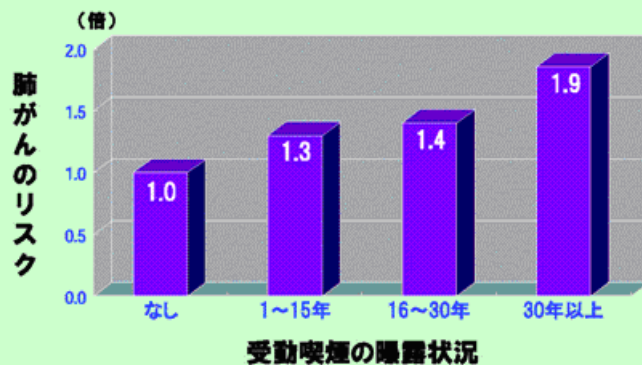
夫の喫煙と妻の肺がんの死亡率 (妻は非喫煙者)



(平山 雄, 1990)

© 厚生労働科学・中村班 2002

職場の受動喫煙と肺がんのリスク



(Fontham, 1994)

© 厚生労働科学・中村班 2002

[このページのトップへ](#)

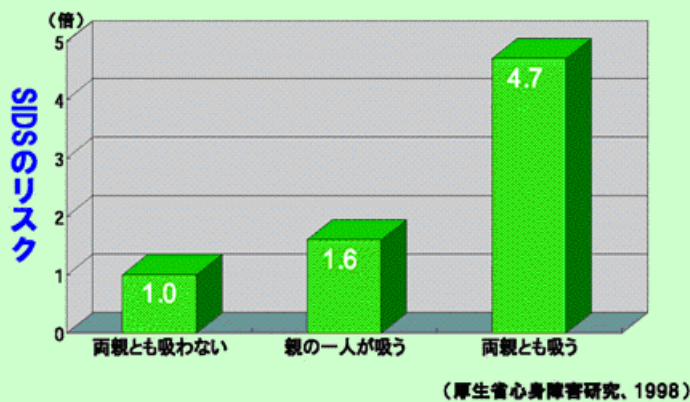
妊娠中にたばこを吸うと...

- 早産、低出生体重児
- 乳幼児突然死症候群
- 身長伸びが悪い、体重が増加しない
- 知能の発達が遅れる
- キレる子供、犯罪者になりやすい

子供の前でたばこを吸うと...

- 乳幼児突然死症候群
- 喘息、呼吸器疾患
- 中耳炎
- 種々の病気になりやすい
- 身長伸びが悪い
- 視力低下
- 知能の発達が遅れる

両親の喫煙と乳幼児突然死症候群（SIDS）



© 厚生労働科学・中村 2002

○ 禁煙のすすめ－目次－

- [たばこの有害物質](#)
- [たばこの周囲の人への影響](#)
- [禁煙のメリット](#)
- [呼気一酸化炭素\(CO\)濃度測定](#)
- [禁煙補助剤](#)
- [禁煙Q&A](#)
- [たばこの体への影響](#)
- [ニコチン依存症](#)
- [禁煙後の体重増加](#)
- [禁煙の手順](#)
- [禁煙を継続させるための工夫](#)

[このページのトップへ](#)